

Dialogue 28 Giving examples -例をあげていう-

教室での活動案

アクティビティ名：「何屋さん？」

売っているものの例を挙げ、何の店かを当てさせる活動。

Target Expression: They sell other things, **for example**, sheets, blankets, pillows....

(ほかのものも売ってる。たとえば、シーツ、毛布、まくらとか。)

用意するもの：

八百屋、蒲団屋、金物屋、といった店の絵。

(それぞれの店で売られている商品のうちいくつかを大きく描いておく。)

店とそこで売られている商品の例：

- 八百屋(a grocery)：にんじん(carrots)、ピーマン(green peppers)、なす(eggplants)、きゅうり(cucumbers)、じゃがいも(potatoes)、トマト(tomatoes)
- 蒲団屋(a futon-ya)：ふとん(futon)、シーツ(sheets)、毛布(blankets)、まくら(pillows)
- 金物屋(a hardware shop)：バケツ(buckets)、ナイフ(knives)、工具(tools)、はしご(ladders)
- 花屋(a flower shop)：ユリ(lilies)、バラ(roses)、チューリップ(tulips)
- ケーキ(お菓子)屋(a cake shop)：お菓子(sweets)、ケーキ(cakes)、クッキー(cookies)、チョコレート(chocolates)

* 店ではそれぞれの物品を複数扱っているなので、売られているものは全て複数形になっている。

- ① 店の紹介と、店で売っているものの例示を教師がし、生徒に Listen & Repeat させる。教師は店の絵を生徒に見せながら、ターゲットの表現を発話し、生徒に繰り返させる。
- ② 一通り終わったら、生徒に当てて言ってもらい、最後にもう一度、クラス全体で繰り返して練習する。
- ③ 生徒にペアかグループを作らせ、好きな店を選び、それぞれのペアかグループに好きな店と、そこに売っているものを書き出させる。単語は自分たちで調べても良いし、教師がヒントをあげたり言ったりしても良い。教師は歩いてまわり、わからない語や発音練

習などを助けたり、お店に売っているものについてヒントをあげたりする。

- ④ ③で書き出した単語をもとに何を売っているかの例をあげる表現（ターゲットの文）を使った表現を作らせる。
- ⑤ ペア(グループ)はできた文をクラスで発表し、それを聞いたクラスは「何の店について例示しているか」を当てる。

例)

Student A: What kind of store is this? They sell vegetables, for example, carrots, green peppers and eggplants.

Student B: It's a grocery!

Student A: You are right!

生徒 A：このお店は何のお店でしょう？ 野菜、例えばにんじん、ピーマンやなすを売っています。

生徒 B：八百屋だ！

生徒 A：正解です！